

三土第 1143 号
平成 20 年 10 月 22 日

国土交通省道路局長様

三条市長 國定勇人



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃から本市の道路行政に特段のご配慮を戴いていることに心より感謝を申し上げます。

さて、先般ご依頼を受けた標記について別紙の通り回答いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

・「道路特定財源等に関する基本方針」が平成 20 年 5 月 13 日に閣議決定されたところであり、これから先どれだけのスピード感で道路整備がなされていくのかということについては、不透明な状況が続いていると言わざるを得ない状態であるが、それでも重要なことは必要な道路は造っていくべきであるということであり、地方における広域道路網の整備及び都市内道路網の整備のためには、国の財源が必要不可欠である。「道路特定財源等に関する基本方針」にも「地方財政に影響を及ぼさないように措置する。また、必要と判断される道路は着実に整備する」とあることから、所要の財源が確保できるようお願いしたい。

・県央地域（三条市、燕市、加茂市、田上町、弥彦村）における二次医療圏の圏域内搬送率は県内の他の圏域に比べ非常に低くなっている。昨今、救急医療体制の充実の必要性が高まっていることから、中核病院及び救急救命センターの設置に向けた取組を進めるとともに、近隣市町村圏域での連携による広域的な道路ネットワークの整備（国道 289 号燕北バイパス、国道 403 号三条北バイパス、国道 289 号石上大橋下流橋 等の整備）が不可欠である。このことから、広域網の連携に向け、単に必要としている道路の交通量による B/C だけでなく、緊急時における救急搬送ネットワーク体制なども判断基準として考慮に入れた道路整備を図られたい。

・近年、水害・地震などの自然災害が頻繁に発生している中、本市においても「7.13 豪雨水害」などの被災を受けており、その教訓からも災害時には近隣市町村圏域よりもさらに広域的な視点による道路ネットワーク整備を進める必要があると感じている。このことから、国道でありながら交通不能区間となっている国道 289 号（八十里越）の開通は、地域経済・文化の活性化が図られるだけでなく、災害発生時には重要なライフラインとなるため、早期開通に向けた取組を促進されたい。

・既に整備されている高速道路の活用としてのスマートインターチェンジの設置は、高速道路までのアクセス時間の短縮、利便性の向上、物流の効率化により、地域経済の活性化や救急医療搬送時間の短縮等を促進させる効果があることから、今後も増設に向けて整備を促進されたい。

・地域の生活に密着した道路の整備を安定的に推進するため、地方道路整備臨時交付金の継続等により地方の自主性・裁量性の確保に努められたい。また、交通事故死者数に占める歩行中の死者数の割合が高いことから、通学路等における安全・安心な歩行空間の確保を図られたい。

・高度経済成長期に建設された多くの高齢化した道路ストックが増えていることから、道路の維持・管理は重要な要素だと考えている。老朽化した道路による大きな被害が発生しないよう、道路維持に対する財源の措置等、新たな制度の確立をお願いしたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

本市の道路は、北陸自動車道、国道 8 号、国道 289 号、国道 290 号及び国道 403 号の広域骨格道路を主要地方道と一般県道が補完し、本市と周辺都市とを連絡しているが、歩道などが未整備の路線も多く、幹線道路としての整備が必要となっている。

また、慢性的な交通渋滞の現状などから市街地周辺における国道 403 号や国道 289 号などのバイパス整備や、中心市街地と周辺地域を結ぶ道路網及び生活道路や自転車歩行者道路の整備など道路整備に対する市民ニーズが極めて高い状況にある。

さらに、本市を含む県央地域（三条市、燕市、加茂市、田上町、弥彦村）における二次医療圏内の搬送率が他市に比べて低くなっており、中核病院及び救急救命センターの設置に向けた取組を進めるとともに、より短時間での救急医療搬送が可能となるよう広域幹線網の連携に向けた整備が必要となっている。

国道 289 号（八十里越）は国道でありながら、交通不能区間となっており、新潟・福島両県はもとより東北及び北陸地方の産業、経済、文化の新たな交流を促進させるべき地域連携軸として重要な役割を持つことから早期の開通が求められる。

北陸自動車道の栄スマートインターチェンジの設置について、地域経済の活性化及び救急医療搬送時間の短縮等を促進させる効果が期待できることから、早期実現に向けて取組を進める必要がある。

限られた財源の中で、老朽化していく道路の維持・管理の必要性も高まっていくことから、どのように集中と選択による資源配分をするのかを誰もが理解できる内容で表すことで、計画的な道路整備と市民への説明責任を果たす必要がある。

これらのことから、産業の発展や市民の暮らしを支える安全で快適な道路環境の整備及び災害時における緊急輸送、救急医療などにも十分対応できる計画的な道路の整備を今後も着実にかつ早急に進めていくことが重要課題となっている。

隣接市町村と本市との相互のアクセスを高める国道 403 号北バイパスなどの広域幹線網の連携により、二次医療圏内の高い搬送率の確保や地域間交流の促進による地域活性化などの効果が十分実感できるまちを目指す。

また、国道 289 号（八十里越）の開通により、新たな地域連携軸ができることから、新潟・福島両県はもとより東北及び北陸地方の産業、経済、文化の新たな交流を促進させることで、多分野での効果が十分実感できるまちを目指す。

さらに、北陸自動車道の栄スマートインターチェンジの開設及びインターチェンジまでのアクセス道路の整備により、高速道路へのアクセス時間の短縮が図られ、地域経済の活性化及び救急医療搬送時間の短縮等が実感できるまちを目指す。

この他、市街地周辺における国道 403 号や国道 289 号などのバイパス整備や、中心市街地と周辺地域を結ぶ道路網の整備を促進することで、幹線道路網による利便性の向上を高めることは当然のことながら、地域の生活にかかすことのできない生活道路や自転車歩行者道路の整備などの改善が市民に実感していただけるようなまちを目指す。また、これらの整備が集中と選択により、誰もがわかるような優先順位のもとで計画的に進められることを市民に対して説明できるまちを目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

新潟県三条市

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	<p>栄スマートインターチェンジ整備事業</p> <p>国道 289 号（八十里越）整備事業</p>	<p>北陸自動車道にある栄パーキングにスマートインターチェンジを設置することにより、地域経済の活性化及び救急医療搬送時間の短縮等が図られる。</p> <p>国道でありながら、交通不能となっている区間の解消を図ることで、新潟・福島両県はもとより東北及び北陸地方の産業、経済、文化の新たな交流の促進が図られる。</p>	<p>国の交付金事業のため、現在事業の執行が停止されている。</p>
都市交通の快適性、利便性の向上	<p>救急医療搬送の充実（国道 403 号北バイパス整備等による広域幹線網の連携）</p>	<p>県央地域への中核病院及び救命救急センターの設置に向けた取組を行うとともに、広域幹線網の連携に向けた整備を進めることにより、低い二次医療圏内の搬送率の向上が図られる。</p>	
計画的・効率的な維持管理や更新の推進	<p>道路工事の優先順位付けの検討</p>	<p>道路工事の優先順位付けについて誰もが理解できる内容を確認することにより、計画的な道路整備と市民への説明責任を果たすことができる。</p>	